

病害虫発生予報

第7号(10月予報)

令和3年9月28日
岐阜県病害虫防除所

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	10月予報
			発生量
なし	黒星病	栽培地域全域	多
果樹共通	果樹カメムシ類	栽培地域全域	やや多
イチゴ	ハダニ類	栽培地域全域	多
野菜一般	アブラムシ類	栽培地域全域	やや多
	ハスモンヨトウ	栽培地域全域	平年並
	タバコガ類	栽培地域全域	やや少
施設野菜	コナジラミ類	岐阜・西濃地域	やや多

【防除にあたっての注意事項等】

薬剤防除にあたっては、「病害虫・雑草防除指導指針」を参照するとともに、最新の農薬登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。

外部リンク：外部リンク：農薬登録情報提供システム（農林水産省）
<https://pesticide.maff.go.jp/>

【発生予報・根拠・注意事項等】

I 果樹類

1 なし

黒星病	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

- 予報の根拠（発生量が多くなる要因を（+）、少なくなる要因を（-）で表記）
 - 発病葉率は、高かった（+）。
 - 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（-）、降水量は平年並～少ない（±～-）と予想される。
- 防除上注意すべき事項
 - 秋期防除を徹底し、次年度の伝染源の発生を抑制する。
※ 病害虫図鑑「なし 黒星病について」もあわせて参考にしてください。

2 果樹共通

カメムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

- 予報の根拠
 - 予察灯におけるチャバネアオカメムシの成虫誘殺数は、岐阜・西濃地域で多く（+）、中濃地域で平年並であった（±）。
 - かきにおける樹上での被害果率は、低かった（-）。
 - 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（+）、降水量は平年並～少ない（±～+）と予想される。
- 防除上注意すべき事項
 - 夜温が低下すると活動が低下するが、昼間の気温が高いとカメムシ類の加害が続くことがある。
※ 病害虫発生予察注意報第6号「果樹カメムシ類」（令和3年9月16日）、病害虫図鑑「果樹カメ

ムシ類について」もあわせて参考にしてください。

II 野菜

1 イチゴ

ハダニ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	多

- (1) 予報の根拠
 ア ほ場での発生量は、岐阜・西濃、東濃地域で多く（＋）、中濃地域で少なかった（－）。
 イ 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～少ない（±～＋）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
 ※病害虫図鑑「イチゴ ハダニ類について」もあわせて参考にしてください。

2 野菜一般

アブラムシ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや多

- (1) 予報の根拠
 ア 黄色水盤での誘殺数は、岐阜・西濃地域で多く（＋）、中濃、東濃地域でやや少なかった（－）。
 イ ナスほ場での発生量は、少なかった（－）。
 ウ 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～少ない（±～＋）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統の薬剤の連用を避ける。
 ※病害虫図鑑「ナス アブラムシ類について」もあわせて参考にしてください。

ハスモンヨトウ	対象地域	発生量
	栽培地域全域	平年並

- (1) 予報の根拠
 ア フェロモントラップの誘殺数は、平年並であった（±）。
 イ サトイモほ場での発生量は、少なかった（－）。
 ウ 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～少ない（±～＋）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。
 ※病害虫図鑑「野菜類 ハスモンヨトウについて」もあわせて参考にしてください。

タバコガ類	対象地域	発生量
	栽培地域全域	やや少

- (1) 予報の根拠
 ア オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、少なかった（－）。
 イ タバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、少なかった（－）。
 ウ 向こう1ヶ月（9/25～10/24）の気象予報によれば、気温は高く（＋）、降水量は平年並～少ない（±～＋）と予想される。
- (2) 防除上注意すべき事項
 ア 早期発見に努め、若齢幼虫期の防除に重点を置く。
 ※病害虫図鑑「ナス タバコガ類について」もあわせて参考にしてください。

3 施設野菜

コナジラミ類	対象地域	発生量
	岐阜・西濃地域	やや多

- (1) 予報の根拠

ア 岐阜・西濃地域のトマト施設周辺に設置した黄色粘着板への誘殺数は、やや多かった(+)。

イ 向こう1ヶ月(9/25~10/24)の気象予報によれば、気温は高く(+)、降水量は平年並~少ない(±~+)と予想される。

(2) 防除上注意すべき事項

ア ほ場ごとに発生状況の差があるため、ほ場内をよく観察し、発生が認められる場合は薬剤防除を実施する。

※ 病害虫図鑑「トマト コナジラミ類について」もあわせて参考にしてください。

[参考資料1]

【9月の調査における病害虫発生量】

作物名	病害虫名	調査地点での発生量：9月			
		岐阜・西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
大豆	カメムシ類	少	—	少	—
	ハスモンヨトウ	やや多	—	少	—
かき	ハマキムシ類	やや少	平年並	—	—
なし	黒星病	多	多	—	—
果樹共通	果樹カメムシ類	多	平年並	少	少
イチゴ	ハダニ類	多	少	多	—
夏秋トマト	灰色かび病	—	多	多	多
野菜一般	アブラムシ類	多	やや少	やや少	やや多
	ハスモンヨトウ	平年並	平年並	平年並	—
	タバコガ類	—	少	少	やや多
施設野菜	コナジラミ類	やや多	—	—	—

※調査地点はほ場、予察灯、フェロモントラップ等

[参考資料2]

《用語の基準と使用法》

- 1 半旬 月の1~5日を第1半旬、6~10日を第2半旬と表す。
- 2 時期 平年並 平年値を中心として前後2日以内。
 やや早い 平年値より3~5日早い。
 やや遅い 平年値より3~5日遅い。
 早い 平年値より6日以上早い。
 遅い 平年値より6日以上遅い。
- 3 発生量 平年並 平年値を中心として、その値が±20%以内。
 やや多い 平年値より、その値が21~40%多い。
 やや少ない 平年値より、その値が21~40%少ない。
 多い 平年値より、その値が41%以上多い。
 少ない 平年値より、その値が41%以上少ない。
- 4 平年値 同一調査地点における過去10年間の値の平均値。

[参考資料 3]

【東海地方 1 か月気象予報】（抜粋）－名古屋地方気象台 令和 3 年 9 月 23 日発表－

《予想される向こう 1 カ月の天候（9 月 25 日から 10 月 24 日）》

- ・天気は数日の周期で変わるでしょう。平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・平均気温は、高い確率 60% です。降水量は、平年並または少ない確率ともに 40% です。日照時間は、平年並または多い確率ともに 40% です。
- ・週別の気温は、1 週目は、高い確率 50% です。2 週目は、高い確率 60% です。3～4 週目は、平年並または高い確率ともに 40% です。

[向こう 1 ヶ月の気温、降水量、日照時間の各等級の確率 (%)]

	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
平均気温	10	30	60
降水量	40	40	20
日照時間	20	40	40

[気温経過の各階級の確率 (%)]

	低い	平年並	高い
(1 週目) 9/25～10/1	10	40	50
(2 週目) 10/2～10/8	10	30	60
(3～4 週目) 10/9～22	20	40	40

病害虫防除所ホームページに、病害虫発生予察調査データを公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/2979.html>

主要な病害虫の防除上の注意事項等については、「病害虫図鑑」をご活用ください。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/12933.html>